

2023/10/26

# 偽情報や犯罪被害につながる情報を 怪しいと判断できる力の育成

— 闇バイトの実態紹介と授業事例 —

常葉大学教育学部

酒井 郷平

## 酒井 郷平 (さかい きょうへい)

博士(教育学)／常葉大学教育学部 講師

専門分野: 教育工学, 情報教育(特に, 情報モラル教育)

### ▶経歴

2018年3月 静岡大学大学院教育学研究科修了

東洋英和女学院大学助教, 講師を経て2022年9月より現職

## 第2回セミナーのテーマ

闇バイトをはじめとする**偽情報**や**犯罪被害**に  
**つながる情報を怪しいと判断できる力**を  
どのように育成するか

# 情報モラル教育の視点から

---

## 新しい技術・犯罪に対応するためのポイント

- ① **トラブルの当事者になりうるという“自覚”**
  - 最新の事例や対策を知らないだけなのか？
  
- ② **巻き込まれる可能性を“想像”する力**
  - 「犯罪を犯さない」という指導だけでよいのか？
  
- ③ **情報共有と対策に向けた外部との“連携”**
  - 学校や教員だけで指導可能なのか？

# 情報モラル教育の視点から

---

## 新しい技術・犯罪に対応するためのポイント

- ① **トラブルの当事者になりうるという“自覚”**
  - 最新の事例や対策を知らないだけなのか？
- ② 巻き込まれる可能性を“想像”する力
  - 「犯罪を犯さない」という指導だけでよいのか？
- ③ 情報共有と対策に向けた外部との“連携”
  - 学校や教員だけで指導可能なのか？

# 「自覚」させることの重要性

子供たちは「闇バイト」の存在を知らないわけではない

## 【ありがちな指導方法】

(極端な)トラブル事例をたくさん見せて、怖がらせる

⇒ (子供) あんなトラブルにあってバカだなあ。

自分はあるトラブルになんてあわないし。

## 【ありがちな指導方法】

映像教材を見せて、トラブル回避方法について考えさせる

⇒ (子供) 自分と主人公は関係ないし。

主人公みたいなトラブルになんてあわないし。

新しい技術や犯罪だからこそ、

自分のこととして「自覚」させることが重要に

# 「自覚」させることの重要性

---

例えば、「闇バイト」の経験はなくても・・・

- ・ SNSの情報を**誤って判断**したことがある
- ・ **お金を優先**して行動したことがある
- ・ **先輩に言われて**仕方なく従った経験がある
- ・ **知らない人**とSNS上でやりとりをしたことがある

「自分もやってしまうかも・・・」を考えておくことが、  
行動を変容させるきっかけになる

# 情報モラル教育の視点から

---

## 新しい技術・犯罪に対応するためのポイント

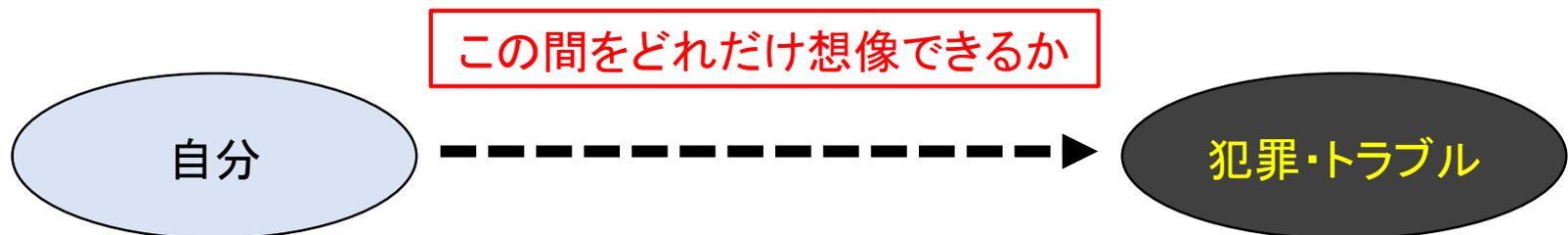
- ① トラブルの当事者になりうるという“自覚”
  - 最新の事例や対策を知らないだけなのか？
- ② 巻き込まれる可能性を“想像”する力
  - 「犯罪を犯さない」という指導だけでよいのか？
- ③ 情報共有と対策に向けた外部との“連携”
  - 学校や教員だけで指導可能なのか？

# 「犯罪にあわない方法」はわかったつもりでも・・・

SNSで検索しなければ「闇バイト」を行わないわけではない

## ▶ 犯罪やトラブルの“きっかけ”はさまざま

- ・ どうしても親に言えないお金の使い方をしてしまった
- ・ 怖い先輩に頼まれて仕方なく
- ・ 最初は普通のバイトだったけど、もっと稼げると言われて



「場面強制想像法」の手法(静岡大×静岡県警)

自画撮りトラブルから  
身を守ろう!

# 「場面強制想像法」の手法(静岡大×静岡県警)

- ② 「自分も下着姿の写真を送ってしまうかもしれない」  
というシチュエーションを考えよう



# 「場面強制想像法」の手法(静岡大×静岡県警)

送ってしまいそうなシチュエーションを1つ考えよう

どんな

- ① 年上の
- ② 年下の
- ③ 部活の
- ④ 怖い
- ⑤ SNSで知り合った
- ⑥ 好きな
- ⑦ 好きだった
- ⑧ 仲の良い
- ⑨ 信頼している
- ⑩ 弱みを握られている
- ⑪ 複数の
- ⑫ 同じ学校の
- ⑬ 他校の
- ⑭ 塾の
- ⑮ 人気のある

だれに

- ⑯ 男の人
- ⑰ 女の人
- ⑱ 先輩
- ⑲ 後輩
- ⑳ 同級生
- ㉑ 先生
- ㉒ から
- ㉓ と
- ㉔ に
- ㉕ の

どのように

- ㉖ 自分の体のことを相談したら
- ㉗ 2人だけの秘密と言われて
- ㉘ 罰ゲームで
- ㉙ 〇万円あげるからと言われて
- ㉚ 私(僕)の写真も送るから
- ㉛ 気をひくために
- ㉜ 生配信しているときに
- ㉝ 個人情報を公開されたくなければ
- ㉞ ふざけて
- ㉟ 過去の恥ずかしい写真や情報をばらまかれたくなければ
- ㊱ いいねがほしくて
- ㊲ とっておきの情報を教えてあげるから
- ㊳ 顔は出さないでいいから
- ㊴ 水着や下着の写真を撮って送るように言われた
- ㊵ 水着や下着の写真を投稿した
- ㊶ 水着や下着の写真を送るように何度も言われた

# 「場面強制想像法」の手法(静岡大×静岡県警)

## 「危険な事例の提示」から「場面強制想像法」 (やってしまうシチュエーションの想像)による自覚化へ

どんな	① 年上の	② 年下の	③ 部活の	④ 怖い	⑤ SNSで知り合った
	⑥ 好きな	⑦ 好きだった	⑧ 仲の良い	⑨ 信頼している	⑩ 弱みを握られている
	⑪ 複数の	⑫ 同じ学校の	⑬ 他校の	⑭ 塾の	⑮ 人気のある
だれに	⑯ 男の人	⑰ 女の人	⑱ 先輩	⑲ 後輩	⑳ 同級生
	㉒ から	㉓ と	㉔ に	㉕ の	
	㉖ 自分の体のことを相談したら	㉗ 2人だけの秘密と言われて	㉘ 罰ゲームで		
どのように	㉙ 〇万円あげるからと言われて	㉚ 私(僕)の写真も送るから	㉛ 気をひくために		
	㉜ 生配信しているときに	㉝ 個人情報を公開されたくなければ	㉞ ふざけて		
	㉞ 過去の恥ずかしい写真や情報をばらまかれたくなければ	㉟ いいねがほしくて	㊱ 顔は出さないでいいから		
	㊲ とっておきの情報を教えてあげるから				
	㊳ 水着や下着の写真を撮って送るように言われた				
	㊴ 水着や下着の写真を投稿した	㊵ 水着や下着の写真を送るように何度も言われた			

もしかしたら、  
自分も自画撮りを  
送っちゃうかも・・・



# 情報モラル教育の視点から

---

## 新しい技術・犯罪に対応するためのポイント

- ① トラブルの当事者になりうるという“自覚”
  - 最新の事例や対策を知らないだけなのか？
- ② 巻き込まれる可能性を“想像”する力
  - 「犯罪を犯さない」という指導だけでよいのか？
- ③ 情報共有と対策に向けた外部との“連携”
  - 学校や教員だけで指導可能なのか？

# “学校”や“教育”だけで対応しきれえるのか？

さまざまな技術や事件に学校だけで対応することは難しい

## ▶ 「警察」や「家庭」との連携が大切

- ・ 最新の事例や手口の構造などは「警察」に情報共有いただく
- ・ 被害や加害に関わった児童生徒は「相談窓口」へ
- ・ 普段の様子の変化を「家庭」で観察してもらう

学校だけではなく、外部との連携を通じた、

「自助(学校)」、「共助(家庭)」、「公助(警察)」が大切。

# 「困ったら相談」で十分か？（常葉大学×LINEみらい財団）

## 警察に相談する基準

みなさんは困った時に、誰に相談しますか？

さすがに警察には相談しづらいという人もいませんか？

### 相談する一つの目安

「裸」や「下着」の写真を送ってと言われたら

さらに、相手との関係や目的に関わらず、法律や条例に違反する恐れがある場合には、警察に相談しましょう

「どのタイミングで誰に相談するか？」を考えておくことも重要

# 【まとめ】情報モラル教育の視点から

---

## 新しい技術・犯罪に対応するためのポイント

- ① **トラブルの当事者になりうるという“自覚”**
  - 最新の事例や対策を知らないだけなのか？
- ② **巻き込まれる可能性を“想像”する力**
  - 「犯罪を犯さない」という指導だけでよいのか？
- ③ **情報共有と対策に向けた外部との“連携”**
  - 学校や教員だけで指導可能なのか？

# ディスカッション

# ディスカッションの進め方

---

警察庁組織犯罪対策第二課特殊詐欺対策室

警察庁生活安全局人身安全・少年課

## 闇バイトの実態に関して

東京都立神代高等学校

情報科主任教諭 稲垣 俊介 先生

高校生を対象とした授業実践事例のご紹介

## ご講演の内容をお聴きして・・・

---

### ■ 警察庁様

- 闇バイトの手口の巧妙さ（メッセージ消去のSNS, 個人情報の取得）
- **導入部分**で阻止する重要性（最後まで騙しきるわけではない）  
（情報の読み解きだけではなく、**個人情報を送らないスキル**も重要）

### ■ 稲垣先生

- **「自分事」**として考えさせる取り組み  
（生徒自らが調べ, 自分事へつなげていく）
- 「まとめ」や「相談」としての**大人の立ち位置**の重要性  
（生徒の主体性との切り分け）

## ディスカッションでお聞きしたいこと

- ① 偽情報に対して、どのようにリスクを身近に捉えさせればよいか  
(「自分事」にするためにどう指導すべきか、どのような声かけが必要か…)
- ② 発達段階に応じてどのように指導すればよいか  
(小～高校にかけて情報の見極めをどのような視点で指導すべきか…)
- ③ 加害者になることを防ぐためにはどう対応すればよいか  
(「悪意」を持ってやっつけてしまっている生徒への対応など…)
- ④ 警察や家庭といった外部と学校との連携はどうすればよいか  
(実際に学校現場に向けてどのような取り組みをされているのか…)

# 投票結果

---

# チャットからのご質問

---